



中学生が「生成AI」に向き合う

市立長尾中が文科省の生成AIパイロット校に指定

9月29日、市立長尾中学校が、文部科学省が進めるリーディングDXスクール事業の「生成AIパイロット校」に指定された。全国で約20校が採択され、これからの教育環境をリードする優れた実践の創出、普及・展開が期待される。同校で今年度から始動した「学校創成プロジェクト委員会」の一環として取り組み、未来を見据えた生成AIに関する議論や試行錯誤を行うとともに、授業における生成AI活用の可能性を模索する。生成AIに対する知識・技能を深め、生徒らが主体的に向き合い、これからの情報社会を生き抜く力を育む。

★ 生成AIパイロット校について

GIGAスクール構想のもと、1人1台のタブレット端末とクラウド環境を活用した優れた実践の創出と好事例を全国へ普及・展開する「リーディングDXスクール事業」の取り組みの中で文部科学省から指定を受けた学校。

教育現場における生成AI活用のパイロット的な取り組みを行い、「効果的な教育実践の創出」を推進する。

★ 長尾中学校における具体的な取り組み内容

生成AIのより正確な回答に必要なプロンプト(指示文)の作成を目的に議論や試行錯誤を行う。指示条件や活用における留意点などを確認し、生成AI(ChatGPT)の可能性についてまとめ、本市全体の学校に発信する。

(取り組み例1)

英語科の授業で文章作成やより自然な英語表現を学ぶために生成AIを活用。

(取り組み例2)

授業内だけでなく、宿題などの家庭学習においても生徒が考えた文章表現の真偽や自然な文章になっているかの判断に用いるなど、効果的な学習に向けて生成AIを活用。

これらの取り組みで、生徒自身が主体的に生成AIと向き合い、質問と回答のプロセスを通じた批判的な情報分析による「真偽を判断する力」など、これからの情報社会で必要な資質・能力の育成を図る。

★ 学校創成プロジェクト委員会とは

長尾中学校の学校目標「自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成」の実現に向け、学校内の行事や授業などのあらゆる部分を、生徒が主体的に検討したり取り決めたりする、今年度から発足した長尾中学校独自の委員会である。

これまでに職業体験の事業所決めや文化祭の企画運営に関わり、今後は生成AIの活用について様々な取り組みを検討していく。

★ 文部科学省が示す生成A I の教育利用の方向性

○教育活動や学習評価の目的を達成する上で、効果的か否かで判断

○年齢制限・保護者同意等の利用規約の遵守（下表参照）

○まずは、十分な対策を講じられる学校でパイロット的に取り組むことが適当

	ChatGPT	Bing Chat	Bard
提供主体	OpenAI	Microsoft	Google
利用規約上の年齢制限	13歳以上 18歳未満の場合は保護者同意	成年であること 未成年の場合は保護者同意	18歳以上
利用料	GPT3.5の場合は無料 GPT4の場合は20米ドル/月	無料	無料
プロンプトの機械学習の有無	有 ※機械学習をさせないようにする設定が可能	デフォルトで機械学習をさせない設定	有 ※機械学習をさせないようにする設定が可能
準拠法	米国カリフォルニア法	日本法	米国カリフォルニア法
管轄裁判所	米国カリフォルニア州 サンフランシスコ郡内の裁判所	日本	米国カリフォルニア州 サンタクララ郡内の裁判所

<お問い合わせ>

学校教育部 学校教育室 教育研修課 ☎ : (050) 7105-8051 FAX : (072) 851-9335